

2020年8月18日

柏市議会議長 石井 昭一様

日本共産党柏市議会議員団

柏市議会定例会における議員の質問（質疑並びに一般質問）時間に関する申し入れ

コロナの感染が拡大する下で、柏市の2020年6月定例会において、議員の質問時間が60分から20分に短縮される事態が起きました。感染症対策は万全の体制をとる必要がありますが、そのことと質問時間を短くするという事はまったく別に考えるべきです。

7月3日の千葉日報に掲載されたように、県内54市の6月議会の状況は一般質問中止が20議会、短縮が18議会、通常通りが15議会との事。この事態に対し、有識者から「議会の役割を半ば放棄しているものではないか」との厳しい指摘があがっています。

そもそも議会は「言論の府」であり、議員活動の基本は言論です。そのため、議会における議員のもっとも重要な権利は「発言の自由」であるといわれており、議員には基本的に自由な論議が保障されています。コロナの問題があるからこそ、議会の役割、責任を全うすることが求められているのではないのでしょうか。

6月議会で一般質問を取りやめた流山市議会は、9月以降は通常通りの議事運営を行うと聞いています。柏市議会においても、第3回定例会からは第1回定例会以前の質問時間を確保するよう強く申し入れます。